

文学部 英文学科 3年生

●英語力向上プロジェクトに参加したきっかけ
 一人で英語のレッスンを受けるということに魅力を感じました。授業でも英語を使ったコミュニケーションの授業がありますが、間違ふ恥ずかしさもあってなかなか積極的に話すことはできませんでした。1対1であるため、正しく英語が発音できるようになりたいと思いました。さらに、英語の勉強を始めたいが何からやればいいのかわからなかったのをこれをきっかけに変われるのではないかと思い、参加しました。

●レッスンの感想、体験談
 このレッスンでの一番の楽しみは授業前に話す、先生とのスモールトークでした。毎回盛り上がり、いつも楽しみながらレッスンを受けることができました。今までは英語を話すことに抵抗がありましたが、私が伝えようとしているときに先生は笑顔で待っていてくれるので毎回行うことで自信ができました。実際にTOEICのスコアも徐々にあがってきているため、今までよりも自信が付き、英語で積極的に会話をしようと思えるようになりました。このプロジェクトに参加してから、英語に対する抵抗が減りました。さらに、カランメソッドでは日本語に訳す時間はないので、英語で聞いて英語で考えられるようになってきました。

●今後の抱負や目標
 英語力向上で培った英語を海外で試してみたいと思っています。今までは、間違えることに抵抗があり、自信がなく海外に行く勇気がありませんでした。また、将来は英語を使って仕事をしたいと考えているので、今後もTOEICや英会話の勉強を続けスコアを上げたいです。また、積極的に英語でコミュニケーションをとっていき、多くの人と話せるようになりたいと思います。

文学部 英文学科 4年生

●英語力向上プロジェクトに参加したきっかけ
 英語を通じてたくさんの方の人と繋がりたいと思ったからです。私は、昨年交換留学生として韓国へ10ヶ月留学しました。そこでは、たくさんの方の留学生が集まっていました。留学生同士では、英語が共通言語でした。そんなとき、なかなか英語が話せず言いたいことが伝えられない悔しさを感じました。英語の必要性を実感し、もっと英語の力を伸ばして会話したい!!この想いから応募し、カランならば日本でアウトプットしながら学び、即効性があるかもしれないという点に魅力を感じました。

●レッスンの感想、体験談
 レッソンは、発音を徹底的に指導してもらえました。留学中は、LとRの発音などがうまくいかに伝わらないことが多々ありましたが、ミスするたびに正確な発音と言えるまで指導してもらえたのはとても嬉しかったです。レッスンを繰り返すたびに、英語のセンテンスがスッと頭に入ってきました。「英語で理解し、英語で返す」まさに、英語脳へと変わってきました。英語→日本語と変換する必要がなくなりました。フィリピンの講師の方は、優しく暖かい方でレッスン中も笑うことがあって苦ではなく、楽しくレッスンを受けていました。

●今後の目標や抱負
 カランのおかげで、英語を話すことに自信ができました。しかし、アウトプットするにはインプットの作業(単語・構文暗記)が必要だと感じました。コツコツ知識を増やして、TOEICのスコアアップへ繋げたいです!!



実践女子大学 実践女子大学短期大学部



英語力(TOEIC) 向上プロジェクト ONE ON ONE SKYPE 英会話



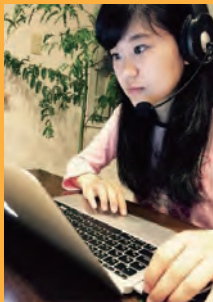
参加者からの声

生活科学部 生活環境学科 2年生

●英語力向上プロジェクトに参加したきっかけ
 私はもともと英語が得意ではないのですが、将来は海外でも活躍できるような人になりたいのでこのプロジェクトに参加したいと思いました。また、ここから先、就職するにあたり英語は必要になると思いますし、私は留学も視野にいれて英語力を伸ばしたいので志望しました。

●レッスンの感想、体験談
 初回のレッスンは緊張しましたが、基礎中の基礎から始まるので、ついていけないなどの心配もすることなく楽しく英語が学べます。また実際にリスニングの成績もあがるので英語の苦手意識が消えていきました。実際、街中で英語で話しかけられても対応できるくらいまでになって、参加してよかったと感じました。

●今後の抱負や目標
 英語の聞き取りができるようになり、少し話せるようにはなりましたが、海外で日常生活が送れるくらいまで、英語力を伸ばすのが今の目標です。これが達成したら、今度は英語を使って働けるような場所でバイトしてさらに英語力を上げていきたいと思っています。



文学部 国文学科 2年生

●英語力向上プロジェクトに参加したきっかけ
 私は将来、文学、文化、美術の分野で日本の素晴らしさを伝える仕事に就きたいと考えています。グローバル化が進み、東京オリンピックの開催が決定する中で、日本の良さを伝える相手が日本人とは限りません。英語が自分の世界を広げることになると信じて学習しています。

●レッスンの感想、体験談
 1対1で先生が丁寧に教えてくださるので、受講時間があつという間に感じるくらい充実しています。カランの授業のおかげで、カラン以外での英語学習のモチベーションも維持できました。特にリスニング力がアップしました。

●今後の目標や抱負
 TOEICの点数700点を目標に学習していきます。さらに点数だけでなく、会話として英語を使えるようになりたいと思っています。

文学部 英文学科 2年生

この英語力向上プロジェクトでは、無意識のうちに反射的に英語を返答できる英語脳を訓練することができるカランメソッドを採用していたので、即座に英語で話すことができない私の英語力を伸ばすには、適した方法だと思い参加しました。レッスンを受け続けていくと、次第に反射的に英語で質問に答えられるようになり、楽しくレッスンを受けることができました。そして、このレッスンを通して、英語表現の幅が広がり、参加する以前より英語表現について考えることなく、英語で会話ができるようになりました。流暢に英語が話せるように、今後も励んでいきたいと思っています。



英語力向上プロジェクトとは？

2012年夏、明治大学「文明とマネジメント研究所(特定課題研究ユニット・2011.6~2015.3)」と協力し、マンツーマンで習うSkype(スカイプ)でのライブ型オンラインレッスンを実施しました。

本学からは23名の学生が参加し、約2か月間、週3日、合計30時間のレッスン(+自己学習)に挑戦しました。参加学生の多くがTOEICのスコアアップにつながり、「英語の自信がついた」との声が多く寄せられました。

2013年から本学では、このプログラムを独自に再構成し、「英語力向上プロジェクト」(理事会重点)として実施しています。これまで約300名(※2015後期までの延べ人数)の学生が参加し、一部ですが、航空業界やホテル業界のほか、英語を活かせる仕事への就職をかなえた卒業生も輩出することができました。

2015年も「英語力向上プロジェクト」を4月から実施し、前期2コース・夏期集中コース・後期2コースのプログラムを組みました。いずれのコースも英会話レッスン^(※)を中心とするプログラムで、前期2コースには36名、夏期集中コースには10名、後期2コースには39名の学生が参加しました。

※callan methodをはじめとする英会話レッスンはQQイングリッシュ社から提供されます。

◆2015年度の開催コース

【前期2コース】(約3か月間)

1. 入門コース(One on One) : 16名
週2日 1回30分レッスン
2. 中・上級コース(callan method hardcore) : 20名
週3日 1回60分レッスン

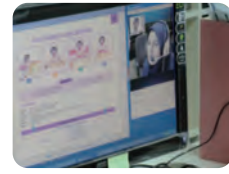
【夏期集中コース】(約7週間)

3. 中・上級コース(callan method hardcore) : 10名
週3日 1回60分レッスン

【後期2コース】(約3か月間)

4. 入門コース(One on One) : 14名
週2日 1回30分レッスン
5. 中・上級コース(callan method hardcore) : 25名
週3日 1回60分レッスン

なぜフィリピンなのか？



これについて、2012年明治大学「文明とマネジメント研究所(特定課題研究ユニット・2011.6~2015.3)」「社会連携教育研究会・英語教育分科会」での報告資料では以下の点をあげています。

- フィリピンは公用語として英語が使用され、小学校からの学校教育は英語で行われている。
- 日本ではあまり知られていないが、世界ではフィリピン人の英語の流暢さは有名である。数多くの欧米コールセンターがフィリピンに設置されていることでも、このことが証明されている。
- フィリピンの労働コストに合わせて安価に英会話プログラムを提供することができる。
韓国は、いち早くフィリピンの語学学校市場に進出しており、日本・韓国のTOEICスコアを比較しても韓国に逆転されその差は歴然となっています。

Skype 英会話の魅力(one-on-one)

同報告資料によると、Skype英会話の魅力として、以下の点をあげています。

- 専用の施設を用意する必要がない。
- 都合のよい時間や場所で学習できる。
- Skypeを使用するため導入・通信コストは無料。
- 遠隔であるため、インストラクターと受講生の間でのトラブルが起こりにくい。

2003年に設立されルクセンブルクに本社を置くSkypeは、Microsoft Corp.の一事業部門となっていますが、2015年現在でも無料で提供されています。

本学で2012年当時の参加学生にインタビューしたところ、人前で英語を話すのは自信がなくて恥ずかしいが、これは自宅の部屋で家族にも知られずレッスンできるので一歩踏み出せた、との感想がありました。日本人の多くは人前で英語でコミュニケーションをとることに恐れ、努力もしますが、実際はなかなか試す機会がなく、実際にその場面に訪れても自信がなくて勇気が出ないという悪循環に陥りがちです。

質の高い個人レッスンを安価で実現するSkype英会話・オンライン英会話は日本においても急速に普及しており、ビジネスモデルとして確立しています。

TOEIC へのこだわり

TOEICを展開するIIBCのホームページによると、「TOEICテスト(Test Of English for International Communication)は英語コミュニケーション能力を測定する世界共通のモノサシとして日本人により発案され、世界最大の非営利テスト開発期間、Educational Testing Service(ETS)により開発されました。1979年の開始以来、受験者数は増え続け、日本では、2014年度には240万人が受験しています。」とあります。

英語検定やTOEFLに比べ、実用的なビジネスシーンの想定内容を含み、実際に多くの企業が英語力の指標として採用し、就職活動でも問われるケースがあります。英語力向上プロジェクトでは、TOEICスコアの向上を大事な指標としています。



Callan Method(カランメソッド)とは？

カランメソッドとは、「英語脳」(英語に対するパターン認識と処理スピード)を徹底して訓練する学習方法です。

カランメソッドのレッスンでは、先生の質問に対して生徒が瞬時に答えることを繰り返すのに加え、先生が通常より速く話さなければならないという決まりがあります。

普通のネイティブが話すスピードは、1分間に約150~180単語です。それに対し、カランメソッドコースの先生はあえて1分間に200~230単語のスピードで話します。



この状況下では、生徒は常に先生の言葉に神経を集中せざるを得なく、また、先生のガイドにより強制的に瞬時に答えていくことで、母国語で翻訳するプロセスを強制的にストップさせます。この方法によって、無意識のうちに反射的に英語を返答できる「英語脳」を訓練します。

「英語脳」が形成されることにより、自分の持っている「英語力」(語彙・熟語・文法など)へのアクセススピードが格段に向上します。特に「これまで英語の勉強は沢山したけれど、英語が話せない、話す自信がない…」と痛感している学生には最適の学習方法です。

これまでの取り組み

◆開催コース、人数

●2012年		
夏期集中コース(カラン)		23名
●2013年		
前期 入門コース		30名
中級コース(カラン)		18名
TOEIC対策コース		4名
夏期集中コース(カラン)		10名
対面型カラン		5名
後期 入門コース		28名
中級コース(カラン)		19名
TOEIC対策コース		5名
●2014年		
前期 入門コース		12名
中・上級コース(カラン)		8名
TOEIC対策コース		1名
夏期集中コース(カラン)		11名
後期 入門コース		17名
中・上級コース(カラン)		19名

さいごに

本気で英会話を学びたい! 英語力を伸ばしたい! TOEICに挑戦したい! という意欲ある学生が、このプロジェクトに参加しています。

このプロジェクトでは、意欲ある皆さんに集まってもらい、互いに努力し、英会話を実践する場やカランメソッドを体験する中で、英語を使う楽しさを知り、TOEICスコアアップに挑戦し、「英語力」に自信をつけてもらいたいと願っています。